

松陵

能代高等学校同窓会
事務局
能代高等学校内
能代市高端2-1
TEL 0185-54-2230
題字は神馬会長

「同窓会会員の皆様へ」



同窓会長
神馬 恒成
(第九期)

寒冷の候、同窓生の皆様におかれましてはいかがお過ごしのことでしょうか。今年もまた「松陵」をお送りする季節がやってきました。この度は、久し振りに各支部の報告などを載せております。旧交を温める一助としてくだされば幸と存じます。

さて母校におきましては、平成五年度より三年間、大きな成果を挙げてくださった小野寺清校長が秋田南高校にご栄転になり、後任として前教頭の秋元正英先生を第二十九代校長としてお迎えしました。先生は本校同窓生でもあり人一倍母校を愛されております。新校長のもと、私達同窓生も新たな気持ちで母校発展のために尽力したいと思っております。

今年度は軟式野球部が二年連続十二回目の全国大会出場を果たしました。今度こそは悲願の優勝をと期待しましたが、武運つたなく涙をのむ結果となりました。皆様には派遣のための募金活動にご奮闘いただき、厚く御礼申し上げます。さらに今年の全県新人大会では、硬式野球部は準優勝、山岳部男子が

優勝、柔道部は男女とも準優勝を勝ちとるなど、母校の部活動の活躍ぶりは目覚ましいものがあります。

また進学実績も年々向上し、まさに「文武両道」の校是に恥じない躍進ぶりを示しており、同窓会としても誠に心強く、嬉しく存じております。

私はこの度同窓会会長として再任されました。この二年間は、同窓会組織の強化・充実に意を用いながら運営していきたいと考えております。会員皆様の旧に倍するご協力をお願いいたしまして、ご挨拶いたします。

「九年ぶりの母校」



学校長
秋元 正英
(第二十七期)

昭和六十一年四月、離任式の折り、「この体育館で、今後、生徒と共に母校の校歌を歌うことは我が人生に二度と有り得まい。九年間ありがとう。」という思いと、「自分だけ充実した思いをこれ以上一人占めする事も出来まい。」といった殊勝な思いを自分に言い聞かせながら、複雑な思いで転動して行ったのであった。

我が住まいは「柏子所」である。通勤するにも買い物するにも……必ず能代高校の前を通らねばならない。車から校舎を一瞥しては、未練がましい思いがよぎらなかつたと言えは嘘になる。

昨年四月、思いがけず母校に戻る幸運に恵まれた。思い出の地、樽子山の七十周年記念式典も皆さんに喜んでいただいた。週三時間だけの授業だが、そ

れが何よりも楽しかった。幸せを満喫していたのである。それがこの四月、県教育委員会に異変が興り、校長になってしまったのである。

今年、軟式野球部は連続全国大会へ、硬式野球部は二十年振りに東北大会出場。柔道部、山岳部等も好成績を残し来年が楽しみである。職員・生徒が一体となって、「新米校長に思い出を！」といっているような気がしてならない。

東京同窓会、北海道同窓会など各同窓会や各PTA、その他様々な会に出席させていただいたがその都度、「学校への協力態勢は盤石である、頑張れ。」という声援がここかしこから聞こえてくる思いがして、今は「会」に出席することが、激励という心地よい快感を味わう場になっている程である。

敢闘と栄誉に満ちた母校の伝統と重厚な気風を大切にしながら、新しい校風を築きあげるよう努力して参る所存である。今後とも、同窓各位のご支援・ご協力を切にお願いする次第である。

平成八年度能代高校

同窓会新年会のご案内

日時 平成九年一月十一日(土)

午後三時(受付二時半より)

午後三時〜講演会 講師 鈴木元彦氏

午後四時〜懇親会 演題「雪中田植と祈り」

会場 金勇(能代市柳町)

電話(〇一八五)五五—三三五五

会費 四、〇〇〇円(当日持参)

* 今回の当番幹事は、二十六期新八と三十六期新十八です。

* 参加申し込みは左記へご連絡下さい。

能代高校同窓会事務局(能代高校内)
電話 〇一八五 五四—二三三〇

【支部だより】

東京支部

「能代高校東京同窓会の近況」

八柳昭義(第二十六期卒)

昨年本部で発行した同窓会員名簿により調査の結果、現在東京同窓会は連絡できる会員数が一五七〇名になりました。また多数の同窓生が首都圏に在住していると思いますが、特に若い期の方々の転居等移動が多くて所在確認が難しくなっており事務局も苦勞しています。

八年度の東京同窓会総会は十月四日に開催しました。能代から神馬同窓会会長、秋元校長先生、学年主任の越後先生などと市内各高校の東京同窓会の皆様、それに今年三月に卒業の新卒者四五名等を含ませ一六〇名が出席しました。懇親会ではふるさとの物産が当たる抽選会を行ない、ふるさとを懐かしん



10月4日 於・名浜会館



今年度の卒業生たち



6月15日 於・フジヤサタスホテル(札幌市)

今年の北海道は数十年來の大雪で春が遅く大自然の厳しさを肌で感じたことでした。支部同窓会は五年ぶり去る六月十五日(土曜)六時から札幌植物園向かいのホテルで、三十名の出席で盛大に開かれまし

北海道支部

「北の大地に翔く松陵健児」

佐藤満徳(第三十期卒)

会連合会(通称秋高連)に幹事役員が多数出席し、県内各高校との交流もしております。来年は米代川流域の高校との交流を企画してお



挨拶する佐々木満先生

でもらっています。新卒者を招待するようになってから六年になりました。

その他市内各高校東京同窓会と交流を図り、各高の総会に招待されたりしております。又、毎年開催される在京秋田県高校同窓



挨拶する小林肇東京支部会長

り、市内各高校、大館北秋の各高校同窓会が集まり

「ヤツメかやぎとキリタンポを食べる会」を開催することにしていきます。

今後は東京同窓会員の把握が課題です。地元能代の同窓会の皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



1期生の皆川武生先生(前列右より2人目)も参加された支部同窓会

元校長先生等の出席を頂き母校の近況を語ってくれました。旧制二期卒で小樽で現役で内外科医院を開業している皆川大先輩を筆頭に百二十名の会員が北の大地で活躍しており、来年は小樽での開催を誓い合いました。今後とも宜しくお願



近畿支部

「関西にも同窓会支部があります!!」

堀松 征 記 (第二十七期卒)

第41回 全国高等学校軟式野球選手権大会 於・兵庫県明石市明石公園球場

当支部は軟式野球全国大会が、藤井寺球場で開かれている頃に組織され、初代嶋田支部長・二代目大越支部長に引続き現支部長富浪支部長を中心に運営されている。消息の解る会員約八十名のうち積極的に参加してくれる会員十数名で運営されていると言っても過言ではない。関西という故郷から遠く離れた地というハンデを背負い乍ら、甲子園・明石の両球場に於ける野球の応援と支援を楽しみに役員一同灯を消さぬ様努力しております。幸い最近では軟式野球部が全国大会へ連続で出場しておりますので試合終了後同窓会として懇親を広めております。



神馬同窓会長を囲んで

県庁能高会



挨拶する伊勢正克秋田支部会長

秋田支部



6月24日 於・みずほ苑



9月27日 於・弥高会館

能代市役所能高会

「母校の発展と会員の親和を」

相沢 東生 (第二十五期卒)

能代市役所能高会は、現在、会員二四四人で、市役所内では最大の同窓会組織となっております。

会の活動としてとりたてて申し上げるようなことはしておりませんが、平成四年の硬式、軟式野球部の全国大会ダブル出場や平成七年、八年の軟式野球部の全国大会連続出場の際には、会として若干の寄付をさせていただいたほか、市役所全職員に協力を求め、賛助金のとりまとめをさせていただきました。母校の発展と会員の親和を願って今後も会の運営に努めたいと思っております。

八竜支部

「無言の提言」

三浦 富雄 (第十五期卒)

メロンの里、八竜支部の皆様からの激励と祝福を受けて誕生してから三年、三つ子の魂の例えからして支部形成に最も重要な時を迎えております。こうした時期に、支部発足の幹事役と副支部長職の柴田哲雄(新五期)・伊東満(新六期)の両氏が他界、理想とする長寿国ではあつてはならない現実には大きな衝撃を受けております。支部の平均年齢が五十四歳、高い低いは別として、両氏の無言の提言となりました「健康管理」を支部活動の一環に約束し、一同合掌の今日です。

同窓会総会報告

平成七年九月二十一日(土)、金勇にて総会が行われ本年度決算、来年度予算が下記の通り決定。
新役員は左記のように全員再任されました。



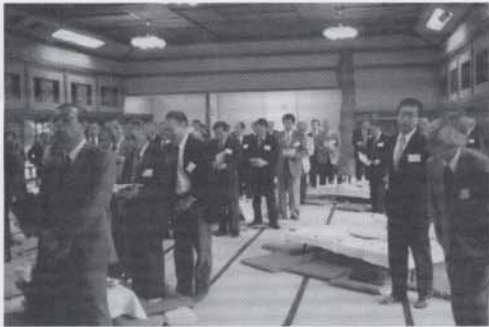
懇親会で挨拶する佐々木満先生

◆ 同窓会役員改選 ◆

顧問	佐々木 満
会長	宮腰 洋逸
副会長	大塚 繁夫
神馬 恒成	伊勢 眞佐實



同窓会総会



校歌斉唱

飯坂 誠悦	工藤 茂宣	小林 純子	田中 仁純	柴田 郁隆	続田 幸也	牛丸 幸也	伊勢 眞佐實	花下 哲夫	大塚 繁夫
田口 善一	大坂 昇一郎	佐藤 浩嗣	会計監事						

同窓会経常費予算

(平成8年9月1日から平成9年8月31日まで)

収入の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
1 繰越金	592,498	394,713	197,785	
2 入会金	1,526,400	1,574,400	△ 48,000	4,800円×318名
3 会費	1,200,000	1,000,000	200,000	
4 繰入金	0	883,070	△ 883,070	70周年記念事業より(前年度のみ)
5 寄付金	1,000	1,000	0	
6 その他	1,000	1,000	0	預金利息など
合計	3,320,898	3,854,183	△ 533,285	

(2) 支出の部

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
1 会議費	680,000	1,000,000	△ 320,000	総会等補助、各支部会出席費
2 慶弔費	100,000	100,000	0	電報、餞別
3 卒業関係費	120,000	120,000	0	入会記念品
4 通信印刷費	1,400,000	1,600,000	△ 200,000	新聞広告、各種印刷代
5 事務費	10,000	10,000	0	名札、リボン、のし袋等
6 寄付金	1,000,000	1,000,000	0	能代高校教育振興会へ
6 予備費	10,898	24,183	△ 13,285	
合計	3,320,898	3,854,183	△ 533,285	

同窓会会計報告

I. 経常費

(平成7年9月1日から平成8年8月31日まで)

収入の部

項目	7年度予算額	7年度決算額	比較増減	摘要
1 繰越金	394,713	394,713	0	昨年度報告
2 入会金	1,574,400	1,569,600	△ 4,800	4,800円×327名
3 会費	1,000,000	1,458,680	458,680	
4 繰入金	883,070	937,237	54,167	70周年記念事業より
5 寄付金	1,000	10,000	9,000	元教頭鈴木進氏より
6 その他	1,000	461	△ 539	預金利息
合計	3,854,183	4,370,691	516,508	

支出の部

項目	7年度予算額	7年度決算額	比較増減	摘要
1 会議費	1,000,000	706,111	△ 293,889	総会・新年会補助、各支部会出席費用等
2 慶弔費	100,000	158,837	58,837	電報、餞別
3 卒業関係費	120,000	125,763	5,763	入会記念品
4 通信印刷費	1,600,000	1,705,120	105,120	案内ハガキ、新聞広告
5 事務費	10,000	79,412	69,412	入会式ビデオ撮影、編纂一式他
6 寄付金	1,000,000	1,000,000	0	能代高校教育振興会へ
6 予備費	24,183	2,950	△ 21,233	
合計	3,854,183	3,778,193	△ 75,990	

差引残高 収入4,370,691-支出3,778,193=差引残高592,498

II. 基金

種類	平成7年度元金	平成8年度元金	摘要
1 秋田銀行積立	22,363,044	23,270,648	入会金784,800円(2,400×327名)
2 郵便局	6,634,000	6,647,489	
合計	28,997,044	29,918,137	